

| | | | |
|----------|---|---------|--|
| 科目 | 国語表現法 (Japanese Expression) | | |
| 担当教員 | 河瀬 真弥 非常勤講師 | | |
| 対象学年等 | 都市工学科・4年・通年・必修・2単位【講義】(学修単位I) | | |
| 学習・教育目標 | B1(100%) | JABEE基準 | (d),(f) |
| 授業の概要と方針 | 日本語を使用する様々な場面での諸問題を取り上げ、日本語の表現と日本人の発想の特徴について、知識の整理、自発的な考察、適切な実践により習得することを目指す。テキストの設問に従った学生の発表と、それに対する質疑応答を中心に授業を進める。 | | |
| | 到達目標 | 達成度 | 到達目標別の評価方法と基準 |
| 1 | 【B1】文章表現の基礎を習得する。 | | 話しことばと書きことばの違い、原稿用紙の使い方、文章表現・構成の注意点が身についているか、定期試験およびレポートにより評価する。 |
| 2 | 【B1】論理的文章の基礎を習得する。 | | 文体が統一された論理的文章が書けるか、定期試験およびレポートにより評価する。 |
| 3 | 【B1】レポートの書き方を習得する。 | | 資料・文献等の根拠に基づき、自己の意見を筋道を立てて述べる事ができるか、定期試験、レポートにより評価する。 |
| 4 | 【B1】就職活動やビジネスの場で求められる文書の書き方を習得する。 | | 日常生活やビジネスの場に適したことば遣いが理解できているか、定期試験およびレポートにより評価する。 |
| 5 | 【B1】日常生活やビジネスの場における正しいことば遣いを習得する。 | | 適切なことばを用いた口頭での自己表現ができるか、定期試験、レポートおよび演習発表により評価する。 |
| 6 | 【B1】口頭発表における自己表現の方法を習得する。 | | わかりやすく、興味を持てる口頭発表のための知識・技術が習得できたか、授業中の演習発表、定期試験およびレポートにより評価する。 |
| 7 | | | |
| 8 | | | |
| 9 | | | |
| 10 | | | |
| 総合評価 | 成績は、試験60% レポート10% プレゼンテーション30% として評価する。到達目標1～6に関する定期試験の平均値を60%、到達目標1～6に関するレポート10%、到達目標5,6に関するプレゼンテーション30%として評価。100点満点で60点以上を合格とする。 | | |
| テキスト | 野田尚史・森口稔『日本語を話すトレーニング』(ひつじ書房) 〔三訂版〕国語の常識plus(明治書院) そのほか、適時プリントを配布する。 | | |
| 参考書 | 野田尚史『なぜ伝わらない、その日本語』(岩波書店,2005) 定延利之・茂木俊伸・金田純平・森篤嗣『私たちの日本語』(朝倉書店,2012) 石黒圭『論文・レポートの基本』(日本実業出版社,2012) 石黒圭『文章は接続詞で決まる』(光文社,2008) 河野哲也『レポート・論文の書き方入門』(慶應義塾大学出版会,2002) | | |
| 関連科目 | 第3学年「国語」 | | |
| 履修上の注意事項 | 事前学習を含め、発表と質疑応答に意欲的に取り組み、国語表現に必要な知識と技術を確実に習得するよう心がけること。 | | |

授業計画(国語表現法)

| | テーマ | 内容(目標・準備など) |
|----|-----------------------|--|
| 1 | ガイダンス. | 授業の目的・成績評価の方法・授業計画についてガイダンスを行う(注意:初回から教科書を用いるので必ず持参すること).発表予定の立案 |
| 2 | 分野別課題研究1 | 発表の仕方の説明 |
| 3 | 問い合わせをする | トレーニング1「問い合わせをする」の発表と質疑応答.問題点の考察と解説 |
| 4 | お願いをする | トレーニング3「お願いをする」の発表と質疑応答.問題点の考察と解説 |
| 5 | お願いをする | トレーニング3「お願いをする」の発表と質疑応答.問題点の考察と解説 |
| 6 | 誘う,断る,謝る | トレーニング5「誘う,断る,謝る」の発表と質疑応答.問題点の考察と解説 |
| 7 | 分野別課題研究2 | 受講者に関連の深い事例研究 |
| 8 | 分野別課題研究3 | 受講者に関連の深い事例研究 |
| 9 | 分野別課題研究4 | 受講者に関連の深い事例研究 |
| 10 | 道や交通の案内をする | トレーニング6「道や交通の案内をする」の発表と質疑応答.問題点の考察と解説 |
| 11 | インタビューをする | トレーニング7「インタビューをする」の発表と質疑応答.問題点の考察と解説 |
| 12 | スピーチをする | トレーニング8「スピーチをする」の発表と質疑応答.問題点の考察と解説 |
| 13 | スピーチをする | トレーニング8「スピーチをする」の発表と質疑応答.問題点の考察と解説 |
| 14 | 会議で発言をする | トレーニング10「会議で発言をする」の発表と質疑応答.問題点の考察と解説 |
| 15 | 分野別課題研究4 | 受講者に関連の深い事例研究 |
| 16 | 分野別課題研究5 | 受講者に関連の深い事例研究 |
| 17 | 会議で発言をする | トレーニング10「会議で発言をする」の発表と質疑応答.問題点の考察と解説 |
| 18 | 手順を説明する | トレーニング11「手順を説明する」の発表と質疑応答.問題点の考察と解説 |
| 19 | やさしい日本語を話す | トレーニング12「やさしい日本語を話す」の発表と質疑応答.問題点の考察と解説 |
| 20 | やさしい日本語を話す | トレーニング12「やさしい日本語を話す」の発表と質疑応答.問題点の考察と解説 |
| 21 | 分野別課題研究6 | 受講者に関連の深い事例研究 |
| 22 | 分野別課題研究7 | 受講者に関連の深い事例研究 |
| 23 | 分野別課題研究8 | 受講者に関連の深い事例研究 |
| 24 | プレゼンテーションをする | トレーニング13「プレゼンテーションをする」の発表と質疑応答.問題点の考察と解説 |
| 25 | プレゼンテーションをする | トレーニング13「プレゼンテーションをする」の発表と質疑応答.問題点の考察と解説 |
| 26 | 研究を発表する | トレーニング14「研究を発表する」の発表と質疑応答.問題点の考察と解説 |
| 27 | 研究を発表する | トレーニング14「研究を発表する」の発表と質疑応答.問題点の考察と解説 |
| 28 | 面接を受ける | トレーニング15「面接を受ける」の発表と質疑応答.問題点の考察と解説 |
| 29 | 面接を受ける | トレーニング15「面接を受ける」の発表と質疑応答.問題点の考察と解説 |
| 30 | 分野別課題研究9 | 受講者に関連の深い事例研究 |
| 備考 | 前期定期試験および後期定期試験を実施する. | |